



希望の鐘 *The Bell of Hope*



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 21-9

3月号

発行 2020年3月6日

Chartered 1998

クラブ会長主題 「20周年を次の20年へ!!」
 国際会長主題 “Building Today for a Better Tomorrow”
 「より良い明日のために今日を築く」
 アジア太平洋地域会長主題 “Action” 「アクション」
 東日本区理事主題 「勇気ある変革、愛ある行動！」
 “Innovation with courage, action with heart!”
 関東東部部長主題 「紡ぐ ワイズのこころ」

会長 吉野 勝三郎
 副会長 松川 厚子
 会計 山崎 純子
 書記 利根川 太郎

2月例会報告

利根川 太郎

3月の聖書

あなたは、適格者と認められて神の前に立つ者、恥じる
 ことのない働き手、真理の言葉を正しく伝える者となる
 ように努めなさい。
 (テモテへの手紙Ⅱ2章15節)

Do your best to present yourself to God as one
 approved, a workman who does not need to be
 ashamed and who correctly handles the words of
 truth.
 (2 Timothy 2:15)

2020年2月の統計 (2月22日)

在籍11名 出席者8名

出席率 72.7%

ゲスト；川越YMCAリーダー

小久保美羽さん

倉野尾恭平さん

2020年 3月 例会予告

日時：3月21日(土) 午後16:00～18:00

場所：川越YMCA

卓話；「5Gについて(仮題)」

講師；札幌慶一様(熱海クラブ)

3月1日(日)に吉野会長と相談の上、3月例会はと
 りあえず中止とします。

- ・開会点鐘
- ・「いざ立て」斉唱
- ・ワイズの信条
- ・議事及び報告事項

- ・バス旅行について

3月31日(火) 8:30～16:00

ウェスタ川越前集合

富岡製糸工場～こんにやくパーク

～ヤマキ醸造 見学と豆腐づくり体験

現時点参加人数(24名)

児童生徒数 12名(川越10名、浦和2名)

YMCA スタッフ 3名

川越クラブ 7名(コメント2名)

ゲスト 2名

今後の募集方法

他クラブ等に働きかけ 30名の参加を目標
 にする。(あと6名)

埼玉クラブ

所沢クラブ

最終締切 3月10日(火)

3月1日(日)に吉野会長と相談の上、コロ
 ナウイルス感染防止のため中止を決定しま
 した。

- ・東日本区大会の物販について
 芋菓子の販売を実施

芋松葉 30袋、芋納豆 20袋、芋せんべい 10袋

芋菓子の調達・ラベル貼りと配送 山崎さん

ホテルにて受け取り 利根川

ポップ制作 山本さん

ユース・リーダーズ・フォーラム報告

利根川太郎

ポップのパウチ 河合さん
のぼり(旗部分だけ)を持って行く。

- ・アースディの参加について
河合さんから総主事に連絡先を聞く。
情報を収集して検討する。
- ・今後の例会について
3月例会 中止。
ただしメールでやりとりの上、状況に応じて
最終土曜日の実施も検討する。
- 4月例会
4月25日(土) 卓話; 山本剛史郎メン
- 5月例会
5月16日(土) お散歩例会
- 6月例会
6月27日(土) 活動計画・予算等
- ・ユース・リーダーズ・フォーラム報告
報告者紹介 河合今日子メン
報告; 倉野尾恭平さん(やきそばリーダー)
小久保美羽さん(きなこリーダー)
- ・YMCA 報告
 - ・フィリピンワーク
リーダー4名が参加し無事終了
 - ・国際フェアに参加
日時; 5月3日(日)、4日(祝)
場所; さいたま市市民の森 最寄り駅土呂駅
 - ・国際グローバルフェスタ 2020~川越で楽しむ
世界の魅力~川越青年会議所主催
日時; 5月6日(祝)
場所; 川越丸広駐車場
体験型ブースを出展予定。ワイズメンも協力を
 - ・次回例会 4月25日(土)3月例会は今後検討
 - ・閉会点鐘



- ・その他の報告
2月のわいわい食堂は、コロナウイルス感染防止のため中止となりました。

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区が主催して、東京 YMCA 江東コミュニティセンターが担当したユース・リーダーズ・フォーラムに、2019年9月6日から8日の日程で、埼玉 YMCA 川越センターのリーダーが参加しました。参加したのは、いずれもリーダー歴2年の、青柳航さん(れおリーダー)、小久保美羽さん(きなこリーダー)、倉野尾恭平さん(やきそばリーダー)の3名です。

3名のうち、小久保さんと倉野尾さんが川越クラブの2月例会に参加して、ユース・リーダーズ・フォーラムの報告をしてくれました。

フォーラムは東京 YMCA 山中湖センターを会場にして東日本区から40名のリーダーが集まったということです。



フォーラムで「今、ユースリーダーに求められること」をテーマに様々な活動をした様子を、生き生きと報告してくれました。

東日本区の様々な地域から集まったリーダーは、それぞれの活動も活動の環境も多種多様であることや、その中で共通して大切にしたいことなどを3日間の活動の中で体験や話し合いを通して発見したということでした。



川越のリーダー3名はそれぞれ3つのグループ、マロンG、だいきちG、ジャンGに分かれてグループ討議の後、互いに発表をすることで全体交流をしました。

三日目の様子 ①発表 マロンG

ユースボランティアリーダーに求められること

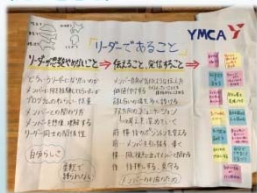
「斜め上の存在」
「共に成長する」
「子供を理解する」



三日目の様子 ①発表 きなこ (だいきちG)

大切なことは・・・

- ・思考をやめないこと
- ・発信していくこと
- ・期待できる変化



三日目の様子 ①発表 ジャンG

大事なことは関わる全ての人の『楽しさ』と『成長』!!!



キャンプを通して

〇活動内容が異なってもリーダーとしての心構えや子供たちへの向き合い方は共通していた。

〇自信をもって自分らしく活動することが大切だということを再確認できた。

〇“楽しむ”ことが大切。

報告を聴いて、ワイズメンからは活動とその報告への賞賛とともに、ワイズメンズクラブがユースの活動を支援していることが大きな成果を上げていることへの喜びが話されました。

報告した二人は、それぞれの夢に向かって就職活動中ということですが、このフォーラムや普段の活動を通して得たつながりを大切にしたいと話してくれました。



現在、埼玉 YMCA では、2月27日に発表されました「全国規模での小中高臨時休校」の要請により、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応に伴うプログラム変更・中止をしております。変更いたしました各事業につきましては、埼玉 YMCA のホームページにてご案内を掲載しておりますのでご確認ください。

なお、川越センターでは、3月3日から火曜日～土曜日の10時～16時で放課後等デイサービスに通う子どもたちを受け入れています。不要不急の外出を控えるようにとの要請の中で、この1か月大幅に行動が制限される生活が子ども達の健康面、精神面に与える影響を懸念し、子どもたちが知っているリーダーと過ごすことで、不安を少しでも軽減し、リズムを崩さずに生活してほしいと願い活動しています。

毎日約10名前後の利用があります。体制的にかなり大変ですが、子どもたちのためにこの大変な時期をみんなで乗り越えたいと思います。今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

シアトル便り

森下 千恵子

日本領事館から新型コロナウイルスに関する注意喚起のメールが毎日のように届きます。一体どうなってしまうのでしょうか。マスクをしたいのですが、アジア人なのでマスクをつけたために感染者と思われるトラブルに巻き込まれるのも怖い。ジレンマです。

今週は日本の運転免許証をワシントン州の免許証に書き換える手続きをするために奔走して終わりました。最終的には4回もドライブライセンスセンターに行ってようやく取れました。

ここで全てを書くには余りにも長くなるので省略しますが、どうやら私の住むフェデラルウェイのセンターは留学生に免許証を出したくないらしく（日本政府とワシントン州の協力覚書があるのに）3回も通った挙句、ことごとく却下されました。学校のスタッフに余分な書類を作らせ、おまけに携帯電話の電話番号を変えてまで作った領収書が役に立たず携帯電話が通じなくなるなど全くのトラブル続きでした。学校のスタッフのステファニーと校長のアダムが「フェデラルウェイは最悪。ケントかレントンに行きなさい。そこで他の生徒は取れた。」というのです。行政事務にそんな差があつていいのでしょうか。ケントもレントンも遠い。フェデラルウェイが唯一自力で行けるセンターです。

私は自宅からセンターまで往復8キロを3回

も歩いて通いました。しかもバックパックを背負って。疲れて家に帰るとその日はホストドクターのミンディの機嫌が悪く「なんで今更免許が必要な。あなたはワシントン州の免許は取れないのよ。トランプ政権だからね。」(彼女は民主党支持者) というのです。「そんなことないわ。二国間の協定があるのだから。」というところでも冷たくされる始末。よーし、意地でも取ってやると必要書類を集めるべく出かけようとするところミンディが部屋で泣いていてノエルが慰めています。職場で嫌なことがあったらしい。まあ、こんなことはしょっちゅうなので寧ろそこで怒らなかつた自分に胸をなでおろしました。子どもの頃疝の強かった私に母が「感情を露にするのは品がない」「言った言葉は引っ込められないのよ。考えてものを言いなさい。」と言ったものです。地方の旧家のお嬢様だった母の躰にことごとく反発していたものですが、気が付くと結果的に母の言葉を繰り返している自分がいます。

どこの国にもズバズバものを言ったり乱暴な物言いをする人はいますが、何故かそういう光景を見るたびにそういう人達の口から大事なものがぼれ落ちていくように見えるのです。

ところで、免許証の件ですがホストファミリーのノエルがケントまで連れて行ってくれました。4度目の正直です。今日とれなかつたらそれこそトランプ政権のせいだとノエルに言いました。(因みにノエルは共和党トランプ支持者)ゲルマン系ネガティブ思考ミンディに対してラテン系ポジティブ思考のノエルは興奮して「さあ、今日はどうかな、お腹がバタフライだ。」と言います。なるほどそう表現するのか。いざ鎌倉へ。あっけなく30分で終了。あたらしい免許証の写真をアップしたいのですが後日送られてくるそうです。帰りの車の中でノエルの興奮は絶頂に達していました。「フェデラルウェイのセンターに乗り込んでどうだと言ってやろう。」などと言い出す始末です。「そうするとその情報が他のセンターに回って他の学生がケントでも取れなくなると困るから。」とあくまで日本人な私。しかし免許証を取るのにこんなに差があるなんてどうということよ。ケントのセンターも勿論端末を使っているので「フェデラルウェイのセンターにも行ったのですね。」と聞かれたときはもう顔がこわばりました。何故と聞かれなくて助かりました。\$91.67なり。これで5年間有効です。

帰る足で携帯ショップに寄ってもらい電話が再び使えるようになりました。やはり言葉が不自由でノエルがいなければ何ひとつ解決しませんでした。簡単と思ったライセンスセンターの質問も上手く答えられませんでした。

前は留学のススメという傲慢なタイトルを書いてしまったので、少し付け加えさせていた

だきたいと思います。留学は誰にでも簡単にできることではないと思います。私も家族には感謝しています。ただし無理をすれば出来る、してみたいという状況ならばしてみることをお勧めするという事です。

実はこうして留学をしている私はいつも自分に自信がなく社交的でもなくアグレッシブでもないので海外には不向きなタイプと自己分析しています。クラスメイトの平均年齢は22歳。ある日彼らが私を尊敬していると知ったときは正直驚きました。相手にされていないのではないかと思っていたからです。勇気があるということです。言葉の通じない環境に身を置くということは自分そのものが試されます。「千恵子なら」とか「千恵子だから」と言ってもらえたのは嬉しかったです。時間をかけクラスメイトを始めスクールスタッフやホストファミリーと信頼関係を築くことが出来たのは自信につながりました。英語については当初から9か月では十分ではないことは分かっていたのですが、漠然と英語をしたいというところから、今後10年間何をするかを設定できたことが良かったかなと思います。

先日3日間という短い滞在で主人がシアトルを訪れました。ホストファミリーと一緒に食事しました。そこでノエルが「千恵子が帰ると寂しくなるよ、僕は彼女をmy favorite (お気に入り)と呼んでいるからね」と嬉しいお言葉。「それに千恵子はユーモアがあるからね。」と言うことでした。主人も日頃の私の行動から思い当たる節があるらしく苦笑いしていました。私は小心者で非社交的ですがお茶らけるのが大好きです。そうか信頼などと真っ当なことを書いてしまいましたがクラスメイトは私を尊敬しているのではなく面白がっていたのかもしれない。



編集後記

令和2年2月号の川越クラブのブリテンをお届けします。

コロナウィルスによる新型肺炎の流行が拡大しています。連日新たな感染者数のニュースが流れて、不安をあおりますが、冷静に対処していきたいと思います。

マスクはなかなか手に入る状況にありませんが、工夫して手持ちのマスクをなるべく長く使う等しています。マスクは人にうつさないよう飛沫の飛散を防ぎますが、他からの感染を防ぐにはあまり効果がないといわれます。予防にはマスクより手洗いと手指消毒が有効だという至極まっとうに思える専門家の意見もあります。トイレットペーパーとティッシュはデマが流れて、ちょうど切れるタイミングで不安でしたが、大量に店頭で山積みしたスーパーが現れて、デマを流して一儲け企んだ人たちに痛烈な批判となっていました。慌てて買いに走らなくてよかったと一安心です。

政府の対応もちぐはぐな感じがして、後手に回っている感もなきにしもあらずですが、この状況では非難するより協力して、それぞれができることをしていくのが大切でしょう。

川越センターでは、火曜日～土曜日の10時～16時で放課後等デイサービスに通う子どもたちを受け入れています。限られたスタッフで大変だと思います。皆さんで支えられたらと思います。

川越クラブは3月例会と31日に計画していたバス旅行を中止しました。早くこの感染が収束して、活動が再開できることを祈っています。

今は感染防止にできることをしっかり行って、ワイズメンの信条（自分を愛するように隣人を愛そう）が大切なのだと心に銘じて過ごしていきたいと思います。

利根川太郎